



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社イナリサーチ
 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川賢司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 (氏名) 野竹文彦

TEL 0265-72-6616

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,434	13.4	90		75		72	
2020年3月期第2四半期	1,265	37.9	43		57		59	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	24.26	
2020年3月期第2四半期	19.79	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	3,461	871	25.1	290.55
2020年3月期	3,466	798	23.0	266.28

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 871百万円 2020年3月期 798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,250	13.5	76	23.7	48	60.8	38	6.0	12.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	2,998,800 株	2020年3月期	2,998,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	株	2020年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	2,998,800 株	2020年3月期2Q	2,998,800 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大により、ワクチン及び治療薬の開発は、従前にも増して喫緊の課題となっております。このような環境下においても、製薬会社等による新薬の開発活動は継続している上、製薬会社が一部の業務をアウトソーシングする流れともあいまって、受託試験業界は堅調に推移しております。

このような中、当第2四半期累計期間における受託試験事業は、売上、利益ともに前年同四半期を上回りました。これは、新型コロナウイルス感染症防止対策に伴うテレワーク化の影響で第1四半期会計期間に発生した最終報告書提出の翌四半期会計期間以降への遅延がほぼ解消したこと、長期大型試験の獲得により飼育室の稼働率が高いレベルで安定し試験原価が改善していること、試験現場の生産性向上に向けた取組によるコスト削減効果が得られたことによるものであります。

また、環境事業においては、理化学機器販売会社等と連携し、設備の更新時期を迎える大学・研究所等の動物関連施設の大型工事の取込み活動を継続しております。当第2四半期会計期間においては前期に受注した大学向け大型脱臭工事が完成引渡しとなりました。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における財政状態及び当第2四半期累計期間の経営成績は、以下のとおりとなりました。

なお、保険契約の変更により生じた保険契約変更差額8,855千円を特別利益に計上しております。

この結果、売上高は1,434,512千円（前年同四半期比13.4%増）、営業利益は90,031千円（前年同四半期は営業損失43,998千円）、経常利益は75,336千円（前年同四半期は経常損失57,726千円）、四半期純利益は72,775千円（前年同四半期は四半期純損失59,360千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(受託試験)

当事業部門におきましては、第1四半期会計期間の新型コロナウイルスの感染防止対策開始当初の業務進捗遅延による最終報告書提出遅延は当第2四半期会計期間中に解消しました。テレワークやWebセミナーを取り入れた営業スタイルを導入したこともあり、受注は前期に引続き堅調に推移しました。また、長期大型試験を受注したことにより飼育室の稼働率は安定いたしました。

以上の結果、売上高は1,362,535千円（前年同四半期比16.5%増）、営業利益は90,156千円（前年同四半期は営業損失49,937千円）となりました。

(環境)

当事業部門におきましては、大学への大型脱臭工事が完成引渡しとなり、微酸性電解水生成装置の販売も伸びております。当第2四半期累計期間においては、売上、利益ともに前年同四半期を下回っておりますが、当初の計画どおりに推移しております。

以上の結果、売上高は71,976千円（前年同四半期比25.3%減）、営業損失は124千円（前年同四半期は営業利益5,938千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は1,866,596千円となり、前事業年度末に比べ53,296千円減少しました。主な内訳は、売上債権の回収による受取手形及び売掛金の減少122,685千円、受注残高の増加による仕掛品の増加84,815千円であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は1,594,536千円となり、前事業年度末に比べ47,751千円増加しました。主な内訳は、有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,550,043千円となり、前事業年度末に比べ89,695千円減少しました。主な内訳は、仕入債務の増加による支払手形及び買掛金の増加99,995千円、返済の実行による短期借入金の減少100,000千円、前受金の減少55,511千円であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は1,039,774千円となり、前事業年度末に比べ11,375千円増加しました。主な内訳は、長期借入金の増加24,950千円であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は871,314千円となり、前事業年度末に比べ72,775千円増加しました。これは、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

第1四半期会計期間においては、受託試験の最終報告書提出に際し、在宅テレワーク等による委託者との意見集約にむけた連絡に著しく時間を要し、最終方向書の提出が予定より遅延する場合があったため、売上高は当初の予定を下回っておりました。当第2四半期会計期間に入り、テレワークが定着したことにより、委託者とのコミュニケーションが改善し、当第2四半期累計期間においては、第1四半期会計期間で生じた最終報告書提出の遅延が解消され、当初予定どおりに売上計上が行われました。今後も委託者とのコミュニケーションに起因する最終報告書の提出が延期される可能性はあるものの、大手製薬会社や大学等の予算執行の関係上、事業年度末(3月)には完了を求められることから、当事業年度末には当初予定どおり売上計上が行われるものと見込んでおります。

試験受注に向けた営業活動では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により委託者への訪問による営業活動は制限を余儀なくされましたが、テレワーク営業が定着した上、顧客のニーズを見据えたテーマによる顧客向けWebセミナーを定期開催するなど新たな営業スタイルを確立しております。SENDサービスの提供、わが国にはない動物種の試験や新型コロナウイルス関連の試験が可能な特色ある海外CROを国内製薬会社等に仲介する代理店営業、アジアを中心とした海外市場開拓等、数年にわたる営業戦略の成果により、堅調に受注が確保できております。

提出日現在において、当社試験研究センターにおける受託試験は順調に実施されております。また、環境事業を含め必要資材は、十分な在庫を保有しており、サプライチェーンも確保されております。

さらに、社員への感染拡大防止策として、全従業員の日々の健康チェック、社員のマスク着用や手洗いの励行、執務机毎のビニールバリアの設置等を継続して実施しております。

以上のとおり、現段階では当該事象が業績に重要な影響を与えないものと想定しております。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響は、経済面だけでなく、社会全般に及んでいることから、今後の推移が想定と異なる場合、経営成績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。その場合、適時適切にその内容を開示いたします。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では計画通り進捗しており、2020年5月13日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	463,751	458,568
受取手形及び売掛金	441,109	318,423
商品及び製品	889	818
仕掛品	605,712	690,527
原材料及び貯蔵品	251,135	280,216
その他	157,295	118,041
流動資産合計	1,919,893	1,866,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,082,250	3,129,687
減価償却累計額	△2,488,467	△2,512,042
建物及び構築物(純額)	593,782	617,644
土地	613,912	613,912
その他	1,005,972	990,626
減価償却累計額	△726,690	△720,630
その他(純額)	279,282	269,996
有形固定資産合計	1,486,976	1,501,553
無形固定資産	20,238	40,953
投資その他の資産		
その他	40,469	52,929
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	39,569	52,029
固定資産合計	1,546,784	1,594,536
資産合計	3,466,677	3,461,132
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	306,972	406,967
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	100,000	120,040
未払法人税等	10,509	20,908
前受金	768,817	713,306
賞与引当金	74,155	76,756
受注損失引当金	3,128	461
その他	276,153	211,602
流動負債合計	1,639,738	1,550,043
固定負債		
長期借入金	800,000	824,950
その他	228,399	214,824
固定負債合計	1,028,399	1,039,774
負債合計	2,668,138	2,589,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,940	684,940
資本剰余金	600,940	600,940
利益剰余金	△487,340	△414,565
株主資本合計	798,539	871,314
純資産合計	798,539	871,314
負債純資産合計	3,466,677	3,461,132

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,265,466	1,434,512
売上原価	962,901	949,669
売上総利益	302,564	484,842
販売費及び一般管理費	346,563	394,811
営業利益又は営業損失(△)	△43,998	90,031
営業外収益		
受取賃貸料	1,621	2,471
補助金収入	150	403
その他	127	163
営業外収益合計	1,898	3,038
営業外費用		
支払利息	13,936	14,716
為替差損	542	747
その他	1,147	2,269
営業外費用合計	15,626	17,733
経常利益又は経常損失(△)	△57,726	75,336
特別利益		
保険契約変更差額	—	8,855
特別利益合計	—	8,855
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△57,726	84,192
法人税、住民税及び事業税	1,633	11,417
法人税等合計	1,633	11,417
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△59,360	72,775

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△57,726	84,192
減価償却費	49,700	68,148
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,327	2,601
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,343	△2,667
保険契約変更差額	—	△8,855
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	13,936	14,716
売上債権の増減額 (△は増加)	310,970	122,685
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△176,036	△113,825
仕入債務の増減額 (△は減少)	△60,714	99,995
前渡金の増減額 (△は増加)	△58,946	39,049
未払金の増減額 (△は減少)	△6,147	△19,621
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,649	△12,639
前受金の増減額 (△は減少)	68,972	△55,511
その他	10,897	△368
小計	56,580	217,895
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△13,415	△14,831
法人税等の支払額	△2,180	△3,267
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,987	199,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,713	△93,915
無形固定資産の取得による支出	△2,460	△24,428
その他	△40	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,213	△118,343
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△100,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△50,000	△55,010
リース債務の返済による支出	△21,473	△31,629
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171,473	△86,639
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△153,699	△5,183
現金及び現金同等物の期首残高	382,298	463,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	228,598	458,568

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託試験	環境	合計(注)
売上高			
外部顧客への売上高	1,169,089	96,377	1,265,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,169,089	96,377	1,265,466
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△49,937	5,938	△43,998

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託試験	環境	合計(注)
売上高			
外部顧客への売上高	1,362,535	71,976	1,434,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,362,535	71,976	1,434,512
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	90,156	△124	90,031

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期損益計算書上の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。